



はやくも師走です。この言葉を昨年も使いました。今年も同じ感想を抱くくらいに一年はあっという間です。文明の病なのかもしれません。今年は秋が短く、その分だけ冬の到来が早いような気がします。街や家庭にはイルミネーションが目につきます。そんな一年の総括の季節に、今月もネットワークの活動と情報をお届けします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

11月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 東京部会 (NO.61) を開催しました。

日時：2013年11月19日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部本館中2階会議室

参加者：11名

主な内容：新井より、来年の「夏休み経済教室」の日程の報告があり、内容面での検討が行われました。内容では講義の難易度などの表示や基礎的入門講座の提案などがあり今後の検討課題となりました。また、これからのワークショップなどの予定が報告されました。配布資料として、神奈川のWSの提案者の金子先生の授業資料が配布されました。

篠原先生より、これまでの教材や実践をまとめた「実践事例集」の編集についての提案がされ、議論を行いました。さしあたりは、ウェブに上げることにして内容の整理を行うことになりました。

埜先生(都立多摩高)より実践報告として、法教育のなかで経済的な観点を取り入れた授業「法的思考をもちいた民事調停ゲーム」の報告がありました。

宮尾先生(国際大)より二つの報告がありました。ひとつは、大学での講義のなかで学生からでてきた質問に対する答えから経済学の目的を達成するための政策に関する説明をしたもので、もうひとつは、公共財のただ乗りゲームの改良版でした。

後者の実践は11月中に行い次回の部会で結果が報告される予定です。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/Tokyo062report.pdf>

■札幌部会 (No. 8) を開催しました。

日時：2013 年 11 月 30 日 (土) 14 時 30 分～17 時 00 分

場所：キャリアバンクセミナールーム

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo008report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

■これからの部会関係の予定を掲載します。

*京都部会 (No. 22) を開催します

日時：2013 年 12 月 6 日 (土) 19 時 00 分～21 時 00 分

場所：同志社大学良心館 4 階第二共同研究室

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto022flyer.pdf>

*大阪部会 (No. 36) を開催します

日時：2013 年 12 月 14 日 (土) 18 時 00 分～20 時 00 分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17 階

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka36flyerR.pdf>

*東京部会 (No. 63) を開催します

日時：2013 年 12 月 17 日 (火) 19 時 00 分～21 時 00 分

場所：日本大学経済学部

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo063flyerR.pdf>

■これからの WS を掲載します。

*経済教育ワークショップ【福井】

日時：2013 年 12 月 17 日 (火) 14 時 00～16 時 30 分

ところ：福井大学文京キャンパス

参加方法は以下の HP をご覧ください。

福井近辺の先生方、ぜひご参加ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS%20Fukui201312R.pdf>

＊経済教育ワークショップ【神奈川三浦】

日時： 2013年12月21日（土）14時00分～16時30分

ところ：潮風アリーナ

（当初予定していた神奈川県立平塚農業高等学校・初声分校の近くです）

参加方法は以下のHPをご覧ください。

首都圏の先生方、ぜひご参加ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS20Kanagawa201312Rvsd.pdf>

■シンポジウムを開催します。

＊「法教育と経済教育の対話（第三回）」のシンポジウムを行います。

日時：2014年3月22日13：00～17：00

場所：同志社大学

出席者が決まり次第、参加方法などをHPに掲載します。

■来年「夏の経済教室」の日程と会場が決まりました。

名古屋会場 2014年8月4日（月）中学向け ウィンクあいち

2014年8月5日（火）高校向け ウィンクあいち

大阪会場 2014年8月7日（木）中学向け 国民会館

2014年8月8日（金）高校向け 国民会館

東京会場 2014年8月14日（木）15日（金）高校向け 東証ホール

2014年8月18日（月）19日（火）中学向け 東証ホール

3会場とも本年と同じ場所です。

内容は、決まり次第お伝えしてゆきます。

■ネットワーク関係団体、研究会の動き

＊第32回授業のネタ研究会 IN 関西

日時：12月22日（日）9：30～17：00

会場：エル大阪（天満橋下車西5分）

参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/32nd%20neta20131222.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■身近な越境を－他教科の教材をのぞく

経済は中学では公民分野、高校では公民科で教えられています。ところが、経済に

関する応用的なテーマは他教科でも扱われています。例えば、国語の評論文には経済学者の文章（岩井克人さんなど）が教科書に掲載されています。環境問題は理科や保健でも扱われていますし、消費者問題は家庭科とオーバーラップしています。

とはいっても他教科との連携という意外と難しいものです。それをもっと簡単にやるのは、ちょっと他教科の教材を覗いて、こんなテーマを教えているんだということを理解しておくことをすすめます。やり方はいたって簡単です。丁度試験が始まる時期。試験監督中に出題された問題を見る、生徒が使っている教科書や資料集をちらちら見ておく。それだけで十分ではないかと思えます。

かくいう私も、先日試験監督中に、英語の教材が教室に放り出してあったのでそれを片付ける際に覗いてみました。見てびっくりです。テーマは家族、言語、環境、生き方など多様。それもかなり深刻なテーマを扱っている教材（なにしろタイトルが“Impact Issues”）でした。そして、クリティカルシンキングを育てるということで、合理的な思考方法で整理して考察し、ロールプレイやディベートをするという構成です。これは経済の授業でも応用的テーマを扱うやり方です。これをAETの先生が担当していると言うのです。生徒に聞いたら、難しいけれど面白いですよとの感想でした。

早速英語の先生にあのサブテキストはすごいですねと話をして、テキストを拝借して、内容や方法に関する対話が始まりました。

総合的な学習を肩肘張ってやるよりも、こんな身近な越境から突破するのも一つの方法かもしれません。（新井）

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

ちょうど大学の非常勤の授業で倫理や哲学の箇所を扱っていたせいも、黒田日銀総裁の「日本銀行で働くのに哲学を学ぶ必要があるとは思いません（笑い）」という言葉が気になって仕方がありません。もちろん日常の仕事に哲学は必要ないでしょう。でも、中央銀行のバンカーが経済に関して哲学をしっかり持っていないで金融政策を行うとするとどうなってしまうのか、心配を通り越してしまいます。

ケインズを出すまでもなく（ただし彼は中央銀行のバンカーではありませんが）、お金という魔物を扱うのに哲学は必要ないのでしょうか？ また、金融の世界では時間が決定的に重要ですが、その時間に関して考察はいらないのでしょうか？ などなど考えてしまいます。

とはいえ、大蔵大臣を経験し、銀行の頭取をやって両方とも失敗したシュンペーターのような人もいますから、生半可な哲学は不要なのかもしれませんね。（新井）

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇